

令和8年度



川口市立芝中学校

第3学年

各教科シラバス

(学習目標・学習計画・学習内容・評価規準等)

学習案内（シラバス）とは

学習案内（シラバス）とは、各教科の学習の目標、学習の内容、評価の観点と方法などについてまとめたものです。生徒のみなさんには、より効果的に学習をすすめるために、また、保護者の方々には、本校の教育活動のより深い理解に役立つものです。

学習指導要領の基本的なねらいとは

令和3年度から全面実施となっている中学校学習指導要領では、子供たち一人一人が、社会に主体的に向き合い関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を發揮し、あらゆる他者を価値ある存在として認め、共に協働できるなど、幸福な人生の作り手及びよりよい社会の作り手となっていけるようにすることを重要視しています。

学習指導要領が目指す評価とは

評価は、子どもたちに、学習指導要領が目指す力をどの程度身に付けているかという学習状況を示すとともに、子どもたちのよさや可能性を引き出し、学習意欲を高めさせるためのものです。

※観点別評価の評価内容

①知識・技能

⇒ 各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

②思考・判断・表現

⇒ 各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

③主体的に学習に取り組む態度

⇒ 知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

* 「粘り強い取り組み」とは、その取り組みが、教科の達成すべき目標に向かっている姿を意味しています。

* 「学習を調整する」とは、課題解決に向けた学びの方向を見通すこと、学びの方向を必要に応じて修正すること、学習成果として何が大切か否かを振り返ること、理解・表現した内容が妥当か吟味すること、他者と協働して最善解や納得解に向かうこと、課題解決に向けて自らを問い直し、問い続けること、などを意味しています。

* 学習指導要領とは・・・

全国のどこで教育を受けても、一定の水準の教育が受けられるようにするため、それぞれの学校のカリキュラムを編成する上での規準となるものが、学習指導要領です。

通知表の見方について

本校では、生徒が学習指導要領に示す目標に照らして、その実現状況を見る評価（目標に準拠した評価）を充実させるために、次のように評価・評定を行います。

1 教科の評価・評定について

(1) 観点別評価

- ① 学習単元・内容ごとにA B Cの3段階で絶対評価をします。
- ② 評価規準
 - 『A』…十分に満足できると判断されるもの
 - 『B』…おおむね満足できると判断されるもの
 - 『C』…努力を要すると判断されるもの

(2) 評定

- ① 学期ごと及び学年で5段階評定をします。
- ② 評価規準
 - 『5』…十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの
 - 『4』…十分満足できると判断されるもの
 - 『3』…おおむね満足できると判断されるもの
 - 『2』…努力を要すると判断されるもの
 - 『1』…一層努力を要すると判断されるもの

(3) 評価の素材

ペーパーテスト（定期テスト、単元テスト、小テスト）、レポート、ノート、ワークシート、ワーク、実験、実技テスト、作品、授業の観察（態度、挙手、発言、発表、忘れ物、係の仕事、片付け等）、話し合い活動（グループでの協議、スピーチ、ディベート、ディスカッション）、提出物、生徒の自己評価や相互評価などで評価します。



2 総合的な学習の時間の評価・評定

(1) 学習活動

課題の設定、調査活動、体験活動、発表活動等

(2) 評価の観点

- ①明確な学習のねらいを持っている。
- ②学習を通して興味関心を一層深めることができた。
- ③学習を通して自分なりの考えを持つことができた。

(3) 評価…文章表記による評価をします。

芝中学校の重点目標

全国学力学習状況調査・埼玉県学力学習状況調査の分析を受け、本校では今年度、下記の項目に重点的に取り組みます。

- ① 授業形態を工夫し、話を聞き発表する力を高める。特に、自分の考えをしっかりと自分の言葉で伝えられる表現力や、周囲との良好な関係を構築していくためのコミュニケーション能力の向上を図る。
- ② 教科の系統性(=学習内容が何につながり、どのようなことに役立つか。)を明確にし、学習意欲や興味関心を高める。
各教科の「3 身に付けさせたい力」の欄に、授業で実施していく具体的な取り組みを記載しました。(★の部分)お読みください。

国語科 第3学年 シラバス

1 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに，言語感覚を豊かにし，我が国の言語文化に関わり，国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 学習のアドバイス

- ① 見通しをもって学習に取り組み、学習の最後に振り返ったことを次の学習につなげよう。
- ② 授業では積極的に発言しよう。また、友達の発言はしっかり聞こう。
- ③ 提出物などの課題は期限を守って提出しよう。
- ④ ノートは、板書を写すだけでなく、自分で工夫しながら作ろう。
- ⑤ 進んで読書をしよう。

3 身に付けさせたい力

- ① 国語を適切に表現する力
- ② 国語を正確に理解する力
- ③ 国語を伝え合う力
 - ★話を聞き発表する力を育てる取り組み
 - ・ペアや班での話し合い活動を行う。

4 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価規準	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに，我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力養い，社会生活における人との関わりの中で伝え厚力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに，読書を通して自己を向上させ，言葉を適切に使おうとしている。

<p>評価方法</p>	<p>(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項</p> <p>(1)～(3)を評価する方法 ○テスト ○提出物</p>	<p>A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと</p> <p>A～Cを評価する方法</p> <p>○テスト ○提出物</p>	<p>①・②の観点にある活動を粘り強い取り組みをもって行おうとする側面と、自らの学習を調整しようという側面を評価する方法</p> <p>○授業中の観察 ○授業の振り返り ○ワークシート ○提出課題の内容</p>
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

計画

指導目標	単元名	学習内容	評価の観点
<p>言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>握手</p>	<p>○1年間の学習の見通しをもつ。 ○作品の設定を捉え、登場人物の人物像や心情を読み取る。</p>	<p>① 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p> <p>② 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。</p> <p>③ 粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。</p>
<p>話の展開を予測しながら聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(知・技)</p>	<p>〔聞く〕評価しながら聞く</p>	<p>○評価しながら聞く練習をする。</p>	<p>① 情報の信頼性の確かめ方を理解し、使っている。</p> <p>② 「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>③ 聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。</p>
<p>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表)</p>	<p>学びて時に之を習ふ －論語－から</p>	<p>○「論語」を読み、孔子の考え方を読み取る。 ○日常生活や自分の生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまると思われる体験や伝聞を伝え合う。</p>	<p>① 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</p> <p>② 「読むこと」において、孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。</p> <p>③ 人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。</p>

<p>目的や意図に 応じて、社会 生活の中から 題材を決め、 集めた材料の 客観性や信頼 性を確認し、 伝えたいこと を明確にでき る。(思・判 ・表)</p>	<p>情報整理のレ ッスン 情報の信頼性 文章の種類を 選んで書こう 修学旅行記を 編集する</p>	<p>○情報の信頼性の確かめ方を 理解する。 ○題材を選び、その題材に関 する情報や図表、写真を集め て「修学旅行記」を編集す る。</p>	<p>① 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ② 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題 材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを 明確にしている。 ③ 進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し 文章にまとめようとしている。</p>
<p>文章の種 類を踏ま え、論理 の展開を 踏まえて 論点を 明確に できる。 (思・判 ・表)</p>	<p>作られた「物 語」を超えて</p>	<p>○筆者の問題意識(話題)を捉 える。 ○筆者の主張と論理の展開を 捉える。</p>	<p>① 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ② 「読むこと」において、論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、 具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するな どして捉えている。 ③ 進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と 情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとし ている。</p>
<p>自分の立 場を明確 に説明し 、相手に 理解させ る。また 、論理を 展開する 構成を考 え、工夫 を凝らす 。(思・判 ・表)</p>	<p>思考のレ ッスン 具体化 ・抽象化 説得力の あ考 る構成を えよう スピーチ で 社会に思 いを届 ける 資料リ オの スピー チ</p>	<p>○具体と抽象の関係で捉えら れるものや、具体と抽象の 関係にある論理の展開のし かたについて理解する。 ○話題を決め、情報を集め、 話の構成を考えて、スピー チをする。</p>	<p>① 情報の信頼性の確かめ方を理解し、使っている。 ② 「話すこと・聞くこと」において、興味を引く導入や明確な主張、 聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを 考えて、話を構成している。 ③ 相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構 成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとして いる。</p>
<p>文章を批 判的に 読み、文 章の長 短や構 成のよ さを考 えて、 自分の 考えを 明確に できる。 (思・判 ・表)</p>	<p>実用的な文章 を読もう 報道文を比較 して読もう</p>	<p>○実用的な文章を読み、課題 に取り組む。</p>	<p>① 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ② 「読むこと」において、事実や事例の選び方、取り上げ方や語句 の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考 えている。 ③ 積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを 踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。</p>
<p>理解した り、必要 な量の 語句を 増やし 、語彙 を豊か にする ことが できる。 (知 ・技)</p>	<p>俳句の可能 性 俳句を味わ う</p>	<p>○情景を想像しながら、それぞ れの俳句を朗読する。 ○俳句についてまとめる。</p>	<p>① 俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを 喚起する効果的な語句に着目したりしている。 ② 「読むこと」において、文章の構成や表現のしかたについて評価 している。</p>

			③	進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
時間の経過による言葉の変化や言い方に関する知識。(知・技)	言葉を選ぼうもって伝える表現を旨として	○時代や世代による言葉の変化について知る。	①	時代の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。
			②	「書くこと」において、相手や場面によって言葉を選んで書いている。
			③	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。
自分の生活や社会との関わり方に関する知識。(知・技)	読書を楽しむ「私の一冊」を探しにいこう	○さまざまな読書の楽しみ方について知る。 ○書評やポップを書く。	①	自分の生活や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。
			②	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間・社会・自然などについて、自分の意見をもっている。
			③	進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評にまとめたりしようとしている。
詩を深く読んで、人間・社会・自然について自分の意見がでる。(思・判・表)	挨拶 一一原爆の 写真によせて	○表現の効果について考える。 ○作者は、この詩の中で、どのようなことを考え、伝えようとしたのか、現代社会の状況と重ね合わせながら、自分の意見を述べる。	①	比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。
			②	「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。
			③	詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
自分の生活や社会との関わり方に関する知識。(知・技)	故郷	○場面や登場人物の設定に着目して作品を読み深める。 ○読み深めたことを踏まえ、作品のもつ価値について批評する。	①	自分の生活や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。
			②	「読むこと」において、「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。
			③	粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
粘り強く話を予聞きしながら、今までの学習を生かして話を聞き取ろうとする。	聞き上手になろう	○話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価する。	①	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。
			②	「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。
			③	

その世界に親しむことができる。(知・技)	古今和歌集 仮名序		② 「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。
			③ 進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
歴史的背景など古典を親しむことができる。(知・技)	君待つと 一一万葉・古今・新古今	○現代語訳や語注を参考に、和歌に詠まれた心情や情景を想像し、用いられている表現技法について知る。 ○心に響いた和歌を一首選び、鑑賞文を書く。	① 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。
			② 「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。
			③ 進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。
歴史的背景など古典を親しむことができる。(知・技)	夏草 一一「おくの細道」から	○芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。 ○心に響く俳句について発表する。	① 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。
			② 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。
			③ 人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。
理解した表現のために必要な語句を増やせる。(知・技)	それでも、言葉	○筆者の考えを読み取る。 ○筆者の考え方について話し合う。	① 理解したり、表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。
			② 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。
			③ 人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。
論理の展開など読み手から助言や改善点を見いだしている。(思・判・表)	情報を読みとって文章を書こう グラフを基に小論文を書く	○グラフから情報を読み取り、分析する。 ○構成や内容を考えて小論文を書く。	① 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。
			② 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。
			③ 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。
自分の生活や社会と関わり方を理解できている。(知・技)	本は世界の扉 エルサルバドルの少女 ヘスース 紛争地の看護師 読書案内	○文章を読み比べ、登場する人物の生き方について自分の考えをもつ。	① 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。
			② 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。
			③ 進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。

文章を深く読んで、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。(思・判・表)	温かいスープ	○筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。	① 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。
			② 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。
			③ 人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
詩を深く読んで、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。(思・判・表)	私を束ねないで	○詩のもつイメージを捉える。 ○作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。	① 理解したり、表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。
			② 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。
			③ 詩を読んで進んで自分の考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
言葉の価値と書己を、我が国の文化に思いを伝える。(主体的学習に取り組む態度)	三年間の歩みを振り返ろう	○三年間の学びを振り返り、その意義や価値を考える。	① 理解したり、表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。
			② 「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えをわかりやすく伝えるように表現を工夫している。
			③ 粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。
言葉の価値と書己を、我が国の文化に思いを伝える。(主体的学習に取り組む態度)	学習を振り返ろう	○小説や説明文、スピーチ原稿を読み、学習課題に取り組む。	① 敬語、具体と抽象など情報と情報の関係、言葉の変化についての理解を深めている。
			② 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。
			③ 粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。

指導事項配列表（3年）NO.1

指導事項配列表（3年①）				【知識及び技能】						
				(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項		(2) 情報の 扱い方に 関する事項		(3) 我が国の言語文化に 関する事項		
				ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の 大體を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字に ついて、文や文章の中で使い慣れること。	イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用 句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うこと もに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感 を磨き語彙を豊かにすること。	ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。	エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこ と。	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めるこ と。	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。	ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界 に親しむこと。
月	教材	時数								
4	世界はうつくしいと	1		◎						
	1 深まる 学びへ	握手	4		◎					
		漢字に親しもう1	1	◎						
		[聞く] 意見を聞き、適切さを判断する 文法への扉1 「走って」いるのは誰？ →文法1 文法を生かす (P230-232)	1					◎		
		説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす	3					◎		
	5	言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	1			◎				
		学びて時に之を習ふ——「論語」から 漢文の訓読	2					◎	◎	
季節のしおり 春		-								
6	2 視野を 広げて	作られた「物語」を超えて	3				◎			
		思考のレッスン 具体化・抽象化	1				◎			
	論理の展開を意識して書こう グラフを基に小論文を書く	4					◎			
	漢字1 熟語の読み方	1	◎							
	漢字に親しもう2	1	◎							
3 言葉と ともに	俳句の可能性 [書く] 俳句の創作教室	4 [2]		◎						
	俳句を味わう			◎						
	言葉の釣り糸を垂らす	2		◎						
	言葉2 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化	1		◎					◎	
7	情報×SDGs	実用的な文章を読もう/ 報道文を比較して読もう	3			◎	◎	◎		
		情報整理のレッスン 情報の信頼性	[1]				◎			
	いつも本は そばに	読書を楽しむ	1							◎
		「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森								◎
		読書案内 本の世界を広げよう	1							◎
コラム ためになるってどんなこと？ 季節のしおり 夏		-								◎

指導事項配列表（3年）NO.2

指導事項配列表（3年②）				【知識及び技能】								
				(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項			(2) 情報の 扱い方に 関する事項			(3) 我が国の言語文化に 関する事項		
				ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の 全体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字に ついて、文や文章の中で使い慣れること。	イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用 句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うこと も、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感 を磨き語彙を豊かにすること。	ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。	エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこ と。	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めるこ と。	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。	ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界 に親しむこと。	イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使 うこと。	ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについ て理解すること。
月	教材	時数										
9	4 状況の中で	挨拶—原爆の写真によせて	2	◎								
		故郷	5							◎		
		[推敲] 論理の展開を整える	2				◎					
		言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語	1	◎								
		聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	1				◎					
		漢字2 漢字の造語力	1	◎								
10	5 自らの 考えを	複数の意見を読んで、考えよう ——正解が一つに決まらない課題と向き合う	3							◎		
		考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く	5				◎					
		漢字に親しもう3	1	◎								
		文法への扉2「ない」の違いがわからない? →文法2 文法のまとめ (P233-236)	1									
		聴きひたる 初恋	1	◎								
		季節のしおり 秋	-									
11	6 いにしえの 心を受継ぐ	和歌の世界	1						◎			
		音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序							◎			
		君待つと—万葉・古今・新古今 和歌の表現技法	2						◎	◎		
		夏草—「おくのほそ道」から 俳句と俳諧	3						◎	◎		
		つながる古典/古典名作選 [書く]古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう	1						◎	◎		
12	7 価値を 生み出す	それでも、言葉を	4						◎			
		漢字3 漢字のまとめ	1	◎								
		漢字に親しもう4	1	◎								
		[話し合い(進行)] 話し合いを効果的に進めよう	1						◎			
		季節のしおり 冬	-									
		合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	4							◎		
いつも本は そばに		本は世界への扉 天、共に在り/極夜行	1							◎		
		読書案内 本の世界を広げよう								◎		

指導事項配列表（3年）NO.3

指導事項配列表（3年③）				【知識及び技能】											
				(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項					(2) 情報の 扱い方に 関する事項			(3) 我が国の言語文化に 関する事項			
				ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ		
月		教材	時数	ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の 全体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字に ついて、文や文章の中で使い慣れること。	イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用 句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うこと もに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感 を磨き語彙を豊かにすること。	ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。	エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこ と。	オ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めるこ と。	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。	ウ 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界 に親しむこと。	エ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使 うこと。	オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用 について理解すること。		
1	8 未来へ 向かって	温かいスープ	6											◎	
		アラスカとの出会い													◎
		律儀な桜													◎
		わたしを束ねないで		5	◎										
		三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする					◎								
2		初日	2		◎										
	漢字に親しもう5			◎											
3		国語の力試し	3		◎						◎				
巻末 教材	学びを深める	文法 一、二年生の復習	-												
		文法1 文法を生かす													
		文法2 文法のまとめ													
		小学校六年生で学習した漢字一覧	-	◎											
		語彙ブック	-		◎										

社会科 第3学年 シラバス

1 学習のねらい

- 広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する。
- わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培う。
- 国際社会に生きる民主的、平和的国家・社会の形成者として必要な公民的な資質の基礎を養う。

2 学習のアドバイス

- ①今まで学習してきた地理、歴史の知識を基礎として、現代の世の中のしぐみを学習しよう。
- ②世の中のしぐみを知るために、テレビや新聞などのニュースに注目しよう。
- ③世の中の動きを理解し、よりよい世の中にするにはどうしたらよいか考えよう。

3 身につけさせたい力

- ★話し合いの活動を取り入れ、説明したり、発表の力をつけます。
- ★感想や振り返りの場を取り入れ、文章や図などで表現する力をつけます。
- ★身の回りの社会的事象や、歴史について探究する力をつけます。

4 評価の規準と評価の方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	・現代の社会的事象から課題を見だし、意義や役割、相互の関連など理解を深めているとともに諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり現代社会の課題について、公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	・現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
評価の方法	・定期テスト、小テスト、レポートなどで評価します。	定期テスト、小テスト、振り返りシート、ノート、授業中の発言、レポートなどで評価します。	・毎授業の振り返りシート、単元ごとのまとめ、授業中の取り組み方などで評価します。

5 授業計画

単元名	学習内容	評価の観点
【歴史的分野】 第6章 二度の世界大戦と日本	① 第一次世界大戦と日本 ② 大正デモクラシーの時代 ③ 世界恐慌と日本の中国侵略 ④ 第二次世界大戦と日本	① 第一次世界大戦後の日本の政治、人々の生活や文化、産業、外国とのつながり等について関心を持ち、時代の特色を理解している。
		② 相互に関連付けるなどして近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し表現している。
		③ 現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとしている。
		④ 第二次大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本が建設されたことを理解している。日本の経済や科学技術の発展によって国民生活が向上し役割が大きくなったことを理解している。
第7章 現代の日本と私たち	① 戦後日本の出発 ② 冷戦と日本の発展 ③ 新たな時代と日本の世界	② 事象を相互に関連付けるなどして現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し表現している。歴史と私たちのつながり現在と未来の日本や世界の在り方について課題意識を持ち多面的・多角的に考察、構想し表現している。
		③ 現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとしている。
		④ 第二次大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本が建設されたことを理解している。日本の経済や科学技術の発展によって国民生活が向上し役割が大きくなったことを理解している。
【公民的分野】 第1章 現代社会と私たち	① 現代社会の特色と私たち ② 私たちの生活と文化 ③ 現代社会の見方や考え方	① 現代社会の特色や日本の伝統や文化の意義や影響について理解している。
		② 現代日本に見られる特色や文化の意義や影響について多面的・多角的に考察し、表現している。
		③ 現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第2章 個人の尊重と日本国憲法	① 人権と日本国憲法 ② 人権と共生社会 ③ これからの人権保障	① 人間の尊重についての考え方を基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。
		② 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し表現している
		③ 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第3章 現代の民主政治と社会	① 現代の民主政治 ② 国の政治の仕組み ③ 地方自治と私たち	① 国や地方公共団体の政治について意義を理解している。
		② 政治に関する諸課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。
		③ 国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている
第4章 私たちの暮らしと経済	① 消費生活と市場経済 ② 生産と労働 ③ 市場経済の仕組みと金融 ④ 財政と国民の福祉 ⑤ これからの経済と社会	① 身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。
		② 個人や企業の経済活動における役割と責任や経済の諸課題について、多面的・多角的に考察し表現している。
		③ 市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第5章 地球社会と私たち	① 国際社会の仕組み ② さまざまな国際問題 ③ これからの地球社会と日本	① 国際社会のかかえる諸課題の解決のため世界の国々の協力が大切であることを理解している。
		② 国際社会の課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。
		③ よりよい社会を築いていくために、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

数学科 第3学年 シラバス

1 教科の目標

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、物事を数学的に考える力を身に付けること。
また、数学が生活や問題解決に役立つことを知り、数学のよさを理解すること。

2 学習のアドバイス

1, 2年生で学習したことが3年生の内容につながっています。既習事項をしっかりと復習しながら、授業に臨みましょう。
①復習を怠らないこと。
②間違えた問題は正答できるまで繰り返しやり直すこと。
③わからない問題は先生や友達に聞いて解決すること。
④1・2年の学習内容と関連付けて勉強しよう。

3 身に付けさせたい力

- ★自分の考えを書く力
- ・ノートを取り方の工夫
- ★自分の考えを説明する力
- ・グループに分かれ、説明しあう機会を増やす。
- ・教え合う活動を取り入れる。
- ★他者の説明を聞く力
- ・授業規律を整える。
- ・他者の意見をメモする習慣をつける。
- ★計算力
- ・小テストを反復行う。

4 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価規準	数の平方根，多項式と二次方程式，図形の相似，円周角と中心角の関係，三平方の定理，関数 $y = ax^2$ ，標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲に着目し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，標本と母集団の関係に着目し，母集団の傾向を推定し判断したり，調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・授業中の問題への取り組み等 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・授業中の問題への取り組み等 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、挙手、忘れ物等 ・小テスト ・提出物

5 授業計画

	単元目標	学習内容	評価の観点			
式の展開と因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすること。 ・簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 ・既に学習した計算の方法と関連づけて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現すること。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○式の乗法、除法 ○乗法の公式 ○因数分解 ○式の計算の利用 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ・簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に学習した計算の方法と関連づけて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式の展開や因数分解をすることのよさを実感して粘り強く考え、多項式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。 			
			平方根	<ul style="list-style-type: none"> ・数の平方根の必要性和意味を理解すること。 ・数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。 ・具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすること。 ・既に学習した計算の方法と関連づけて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現すること。 ・数の平方根を具体的な場面で活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平方根 ○平方根の値 ○有理数と無理数 ○真の値と近似値 ○根号を含む式の乗法、除法 ○根号を含む式の計算 ○平方根の利用 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数の平方根の必要性和意味を理解することができる。 ・数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。 ・具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に学習した計算の方法と関連づけて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。 ・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数の平方根のよさを実感して粘り強く考え、数の平方根について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、数の平方根を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。
						二次方程式

	<ul style="list-style-type: none"> 平方根の考えや因数分解をもとにして、二次方程式を解く方法を考察し表現すること。 二次方程式を具体的な場面で活用すること。 		<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 平方根の考えや因数分解をもとにして、二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 二次方程式を具体的な場面で活用することができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次方程式のよさを実感して粘り強く考え、二次方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、二次方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。
関数 $y = ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> 関数 $y = ax^2$ について理解すること。 事象の中には関数 $y = ax^2$ として捉えられるものがあることを理解すること。 いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解すること。 関数 $y = ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現すること。 関数 $y = ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数 $y = ax^2$ 関数 $y = ax^2$ のグラフ 関数 $y = ax^2$ の値の増減と変域 関数 $y = ax^2$ の変化の割合 関数 $y = ax^2$ の利用 いろいろな関数 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数 $y = ax^2$ について理解することができる。 事象の中には関数 $y = ax^2$ として捉えられるものがあることを理解することができる。 いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解することができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数 $y = ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現することができる。 関数 $y = ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数 $y = ax^2$ のよさを実感して粘り強く考え、関数 $y = ax^2$ について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、関数 $y = ax^2$ を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。
図形と相似	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解することが。 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積の比や体積の比との関係について理解すること。 三角形の相似条件などをもとにして図形の性質を論理的に確かめること。 平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを確かめること。 相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 相似な図形 三角形の相似条件 三角形の相似条件と証明 平行線と線分の比 中点連結定理 相似な図形の面積 相似な立体の表面積、体積 相似の利用 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解することができる。 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積の比や体積の比との関係について理解することができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 三角形の相似条件などをもとにして図形の性質を論理的に確かめることができる。 平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを確かめることができる。 相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 相似な図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、図形の相似について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、相似な図形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。

円の性質	<ul style="list-style-type: none"> 円周角と中心角の関係の意味を理解すること。 円周角と中心角の関係を見いだすこと。 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○円周角と中心角 ○円周角の定理の逆 ○円の性質の利用 	①	<ul style="list-style-type: none"> 円周角と中心角の関係の意味を理解することができる。
			②	<ul style="list-style-type: none"> 円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。
			③	<ul style="list-style-type: none"> 円周角と中心角の関係のよさを実感して粘り強く考え、円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。
三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理の意味を理解すること。 三平方の定理を見いだすこと。 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○三平方の定理 ○三平方の定理の利用 	①	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理の意味を理解することができる。
			②	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理を見いだすことができる。 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。
			③	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理のよさを実感して粘り強く考え、三平方の定理について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、三平方の定理を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。
標本調査とデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の必要性和意味を理解すること。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理すること。 標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現すること。 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○標本調査の方法 ○母集団と標本の関係 ○データを活用して、問題を解決しよう 	①	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の必要性和意味を理解することができる。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。
			②	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。
			③	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査のよさを実感して粘り強く考え、標本調査について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、標本調査を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりすることができる。

理科 第3学年 シラバス

1 教科の目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

2 学習のアドバイス

- ① 身近な自然事象と学習内容を重ねて学習する。
- ② 実験において基礎的な実験技術を身につける。
- ③ 正しく安全に観察・実験をする。
- ④ ワークで実力をためす。
- ⑤ 実験や観察から規則性を見つける。

3 身に付けさせたい力

- ① 自然の事物・現象に進んで関わろうとする意欲
- ② 科学的に探求する能力・科学的な見方や考え方
- ③ 観察・実験の技能
- ④ 自然の事物・現象についての理解力
- ★ 班活動を取り入れる。役割分担を行う。班でまとめたことを書かせる活動を行う。
- ★ 単元の最初にブレインストーミング(日常生活や他の単元との関連付け)をする。

4 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価規準	正しく安全に観察実験する。 実験器具の正しく操作する。 理科の用語の意味、基本的な知識を適切に理解する。	実験や観察から規則性を見つける。考える。 実験の結果をまとめて発表する。	理科の学習に興味を持ち意欲的に取り組むことができる。 積極的に発言する
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ テスト ・ 小テスト ・ 授業中のノートのまとめ方 ・ スケッチ、グラフ ・ パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テスト ・ 小テスト ・ 授業中の考察、観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の挙手発言 ・ ノート、問題集の提出物 ・ 忘れ物

5 授業計画

指導目標	単元名	学習内容	評価の観点
<p>(1) 自然の事物・現象の中に問題を見出し、目的意識をもって観察、実験を主体的に行い、科学的な見方、考え方を養う。</p> <p>(2) 正しい器具操作による観察・実験を行い、課題を解決する方法を習得させる。</p>	1 化学変化とイオン	<p>(1) 水溶液とイオン</p> <p>(2) 酸、アルカリとイオン</p> <p>(3) 化学変化と電池</p>	<p>① 化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>② 化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探求の過程を振り返っている。</p> <p>③ 化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。</p>
	2 生命の連続性	<p>(1) 生物の成長と生殖</p> <p>(2) 遺伝の規則性と遺伝子</p> <p>(3) 生物の多様性と進化</p>	<p>① 生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類と多様性と進化を理解しているとともに、それらの観察、実験に関する技能を身に付けている。</p> <p>② 生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、生物の種類が多様性と進化について特徴や規則性を見いだして表現している。また、探求の過程を振り返っている。</p> <p>③ 生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。</p>
	3 運動とエネルギー	<p>(1) 物体の運動</p> <p>(2) 力のはたらき方</p> <p>(3) エネルギーと仕事</p>	<p>① 物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>② 運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探求の過程を振り返っている。</p> <p>③ 運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。</p>
	4 地球と宇宙	<p>(1) 地球の運動と天体の動き</p> <p>(2) 月と金星の見方</p> <p>(3) 宇宙の広がり</p>	<p>① 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と攻勢を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>② 地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探求の過程を振り返っている。</p> <p>③ 地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。</p>

	<p>5 地球と私たちの未来のために</p>	<p>(1) 自然の中の生物 (2) 自然環境の調査と保全 (3) 科学技術と人間 (4) 持続可能な社会のために</p>	<p>① 日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーと物資、自然環境の保全と科学技術の利用を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>② 日常生活や社会で使われているエネルギーや物資について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の在り方について、科学的に考察して判断している。</p> <p>③ 科学技術と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。</p>
--	------------------------	------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

音楽科 シラバス

1 学習のねらい

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を目指す。

2 学習のアドバイス

- ・心から音楽を楽しむこと。まずは、楽しもうとする姿勢が大切である。
- ・仲間と協力し合い、美しい音楽を作っていくこと。
- ・歌は体が楽器です。正しい姿勢や発声など気を付けること。
- ・上手になりたいという向上心を持つこと。
- ・どうしたら上手くなるのか考え行動する研究心を持つこと。
- ・楽譜を読める、書けるように学習に取り組みくむこと。

3 身に着けさせたい力

- ・美しいものを聴いて美しいと感じる感性。
- ・楽曲を聴いて理論的に説明できる力。
- ・作曲者の考えを楽譜から読み取る能力。
- ・正しい奏法を身に着けるとともに、音楽で想いを表現する能力。
- ・仲間と協働しながら、音楽表現を生み出していく力。
- ・たくさんの感動を通して、心を育んでいく。

4 評価の観点・評価方法

評 価 の 観 点	評 価 基 準	方 法 例
① 知識及び技能	音楽を形づくっている要素を知覚し学習をすることを通して、曲想や音楽の構造、歌詞の内容などの理解を深め、基礎的な技能（歌唱・器楽：発声や発音、体の使い方など 創作：音の選択や組み合わせ方など）が身についている。	○観察 ○ワークシート ○実技試験 ○小テスト
② 思考・判断・表現	表現の活動を通して、音楽を形づくっている要素を生かしながら、表現を創意工夫することができている。また、鑑賞の活動を通して、曲や演奏に対する評価、社会における意味や役割、表現の共通性や固有性、などを味わって聴くことができる。	○観察 ○ワークシート ○実技試験 ○小テスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組み、自分の課題を見つけ、それを乗り越えるために努力しようとしているか。他者と教え合い活動などを通して、協力しながら学習に取り組むことができる。音楽を自ら楽しむ心を忘れず、音楽に親しんでいこうとする態度。	○観察 ○ワークシート ○実技試験 ○小テスト

5 授業計画

○第1学年

	教材名	学習目標	評価の観点
歌唱	<ul style="list-style-type: none"> 校歌 We' ll Find The Way 学年合唱曲 浜辺の歌 (共通教材) 赤とんぼ (共通教材) 合唱コンクール 三送会 卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な歌い方を身に着けよう大きな声で歌おう パートの役割を感じ取って合唱しよう 情景を思い浮かべながら表情豊かに歌おう 曲想を生かして合唱しよう みんなと歌う喜びを感じよう 思いを込めて明るい声で合唱しよう 曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう 	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の抑揚、体の使い方、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表現している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている
			③ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている
器楽	弦楽器 <ul style="list-style-type: none"> 音階 箏 <ul style="list-style-type: none"> さくら 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な奏法を身に着けよう 曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう 唱歌を歌ったり弾いたりしながら、箏の音楽の特徴を感じ取ろう。 	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表現している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている
			③ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている
創作	<ul style="list-style-type: none"> リズムゲーム リズムチャレンジ My Melody 	<ul style="list-style-type: none"> 音符について理解しよう 音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう。 	① 音のつながり方や特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている
			③ 音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている
鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 春 魔王 六段の調 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の特徴に着目しながら、情景を思い浮かべてきこう。 曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。 日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。 	① 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている
			③ 音楽活動を楽しみながら、関心をもって主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている

○第2学年

	教材名	学習目標	評価の観点
歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の世界を ・夏の思い出 (共通教材) ・荒城の月 (共通教材) ・サンタルチア ・学年合唱曲 ・合唱コンクール ・三送会 ・卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・拍にのって、響きのある声で合唱しよう ・パートの役割を理解して歌おう ・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう ・曲想を生かして表情豊かに歌おう ・みんなと歌う喜びを感じよう ・思いを込めて明るい声で合唱しよう ・曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう 	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の抑揚、体の使い方、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表現している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている
			③ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている
器楽	<ul style="list-style-type: none"> ・弦楽器 ・箏曲 さくら ・リズムゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな指使いや響きのある音色を身に着けよう ・曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう 	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表現している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている
			③ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている
創作	<ul style="list-style-type: none"> ・マイメロディー ・レッツクリエイト 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう ・構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう 	① 音のつながり方や特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている
			③ 音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている
鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・フーガ ト短調 ・交響曲第5番ハ短調 ・歌舞伎「勸進帳」 ・「アイーダ」から 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう ・曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう ・オペラに親しみ、その音楽を味わおう ・歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう 	① 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている
			③ 音楽活動を楽しみながら、関心をもって主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている

○第3学年

	教材名	学習目標	評価の観点
歌唱	<ul style="list-style-type: none"> 花（共通教材） Let It Be 花の街 合唱コンクール 三送会 卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> 情景を思い浮かべながら、言葉を大切に合唱しよう。 曲想を生かして表情豊かに歌おう 歌詞の意味を生かして歌おう みんなと歌う喜びを感じよう 思いを込めて明るい声で合唱しよう 曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう 	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の抑揚、体の使い方、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表現している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている
			③ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている
器楽	<ul style="list-style-type: none"> 弦楽器 リズムアンサンブル 和楽器 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な奏法を身に付けよう 曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう 全体の響きを確かめながら演奏しよう 	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表現している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている
			③ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている
創作	<ul style="list-style-type: none"> マイメロディー レッツクリエイト 	<ul style="list-style-type: none"> ハ長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう 音の特徴や重なりを感じてリズムアンサンブルをつくろう 	① 音のつながり方や特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている
			③ 音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている
鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ブルタバ 能「羽衣」 ボレロ ポピュラー音楽の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> 作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう 能に親しみ、その音楽を味わおう 音楽の歴史をたどろう 今の音楽がどのようにできてきたのか知ろう 	① 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している
			② 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている
			③ 音楽活動を楽しみながら、関心をもって主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている

美術科 シラバス(学習案内)

1. 学習のねらい

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

1学年

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
- (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。
- (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

2. 3学年

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

2. 学習のアドバイスなど

美術は日常生活と深く結びついています。普段の生活経験の中で得る知識や感じ方の積み重ねで「美しさやよさの価値観」が醸成されてきます。ぜひ普段の生活のなかで、いろいろなことを自分で考え、自分で表現したり、答えを導き出すなどの習慣を身につけましょう。また授業で与えられた課題には主体的に関わり、最後までしっかり仕上げていくことが大切です。達成感が味わえるように集中して制作に励んで欲しいと思います。

3. 身につけさせたい力

- ★・美術の表現の学習を通して、日常生活との関わりを考え、主体的に課題に関わる知識や技能を身に付けようとする態度を養う。
- ★・美術の鑑賞の学習を通して、日本や世界の美術文化および他の文化に対する感念の価値観を育むとともに心豊かに生活する態度を養う。

4. 評価基準と方法

評価項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の安全かつ適切に扱い、表現意図に応じた材料や用具の基礎的スキルを生かして表現する。 ・美しさやよさなどを総合的に考えながら自分らしく創造的な工夫をして表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や身近なものを新鮮な見方や感覚で深く観察し、形や色彩の特徴、よさや美しさなどを感じ取り、想像力を働かせて豊かに主題を発想する。 ・多様なものの見方をもって発想し、心豊かに作品を創意工夫しようとする。 ・自他の作品のよさや美しさを感じ、言語活動も含めて表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な美術文化に関心をもち、自らの感性を働かせ、対象や表現のよさ、美しさを感じ取りながら意欲的に学習に取り組む。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・用具等の適切な扱い。 ・表現意図に応じた基礎的な表現方法など 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色の特徴やよさを生かした適切な表現内容。 ・豊かな発想に基づいた表現方法や独創的な工夫など。 ・鑑賞レポートや発言等で作品のメッセージ性などを感じ取り適切な表現をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントや作品制作活動、鑑賞の記録などの学習活動の意欲的で主体的な取り組みの様子。

美術科 3学年 年間授業案内

学期	題材名	目的	具体的作品像・イメージなど	主な素材	道具・準備・取りくみ備考
1	水墨画に挑戦	ビデオ鑑賞を通して、水墨画の特徴や表現技法を理解する。	水墨画と日本画、日本画家の作品紹介など		
		墨のかすれ、滲み、明暗のトーンなどの特徴を意識しながら、作品に生かす。	墨の特徴を生かした勢いのある作品	半紙・画仙紙	書道セット・下敷き
	篆刻	篆刻の制作を通して「印章」などの伝統文化への関心を高める。	篆刻にふさわしい文字を選び、各書体のよさを生かした印面表現の作品	高麗石	高麗石、篆刻刀、水やすり、
		印面や持ち手の彫刻制作を通して素材や用具の扱いなどに慣れ、手際よく制作する。	各自の個性を生かした印面のデザインを施した作品		
2	わたしの手から広がる世界	自分の手をデッサンする。表情豊かな表現を心掛ける。	自分の手をしっかりと観察して表現する。	画用紙、鉛筆	参考資料
		手のデッサンをもとに、そこから広がる世界の空想画を描く。	発想を広げて、表現方法を工夫する。	イラストボード	イラストボード、鉛筆、絵の具、色鉛筆など
		作品の鑑賞会をしていろいろな表現方法があることを知る。	友達の作品の良さに気づき、自分の制作に活かす。		作品、鑑賞レポート
3	卒業を迎えて木彫写真額をつくる	アイデアスケッチをして思い出の写真の効果的に飾る写真額のデザインを考える。	どのようなデザインで何を使って制作するかを考えて計画をたてる。	木彫写真額	彫刻刀、絵の具、粘土、シール、布、絵の具など
		彫刻刀による表現、描画、コラージュなど、自分が好きな表現方法を選ぶ。	小中学校で学んだことの集大成として、自分が好きな表現方法を選んで、計画的に制作する。		
		出来上がった写真額に思い出の写真を飾ってみる。			

美術科 特別支援 年間授業案内(案)

学期	題材名	目的	具体的作品像・イメージなど	主な素材	道具・準備・取りくみ備考
1	絵画 スケッチからはじめよう	用具の扱いや表現の基本を「身近なもの」のスケッチを通して学習する。	鉛筆と色鉛筆での簡易スケッチ「春の芽吹き(命)」などを見つめて、鉛筆と色鉛筆等での着彩で仕上げる。		B以上の軟質鉛筆、色鉛筆
	絵画 絵手紙を出そう	「春の芽吹き(命)」の作品を生かして絵手紙を葉書にメッセージの言葉を加えた絵手紙を描く。	水彩絵の具や色鉛筆での淡彩で仕上げる。		B以上の軟質鉛筆、水彩絵の具(アクリル絵の具も可)
	デザイン 切り絵で表すシンメトリー	対象の美しさを切り絵を通して理解し、色紙と黒画用紙の切り絵で表す。	色画用紙の台紙に折り紙、黒画用紙を重ね貼りの表現で作品をつくる。		カッターナイフ、ハサミ、カッターマット、色画用紙、トータルカラー類、スティックのり
2	工芸 木のぬくもりを伝える	電動糸鋸をはじめ、木材の加工機械類の安全で正しい扱い方を学習する。	板材の引落とし技法を使った皿作品	2×6パイン材、	糸鋸、手引き鋸、彫刻刀の安全使用
		板材の切断、接合、削り、彫りなどの基本的な加工についての技法を学習する。	小板材とコルクシートを組み合わせたコースターの作品	品ベニヤ・天然樹木・コルクシートなど	鉄やすり、紙やすり、布やすりの使い分け
		素材のよさを感じ、木のぬくもりなどの美しさや日用品との関係を考えながら発想を広げる。			仕上げのワックス、ニス、着色、焼き込みの技法
秋季課題	身近なひとへ	自分と関わりのある地域のひとへバザー出品を通して販売を行う	使って「美しい」「心地よい」作品を目指してデザインを考える。		なるべく各自の家庭から離れて、作品が社会に出るように、(作品の嫁入り)ができるようにしよう。
		作品のプレゼントと被評価行為を通して、身近な人とコミュニケーションを深める。			
3	卒業を祝う	3年生の卒業を期して、卒業生のポートレイトの制作を通して人物画表現の基礎を学ぶ。	人物の目鼻立ちの形や色、光や画面のバランスを考えながらスケッチを描く。		
		卒業生へのメッセージを考え、主題を引き出しモデルの人物像を見つめ視覚的に理解する。	コンテ、パステルなど固形描画材の正しい扱いを理解しながら丁寧に描く。		カラーコンテ、パステル、ぼかしペン、食パン、練り消しゴム、ワトソン紙、固着スプレー
	デザイン行動(鑑賞)	デザインの基礎的なとらえ方、自らの生活とデザインとの関わりを考える。	ビデオ「デザイン行動」の鑑賞を通してデザインと社会生活とのかかわりについて理解する。		

保健体育科 シラバス

- 1 学習のねらい 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。
 2 学習のアドバイス

3 身に付けさせたい力

- ① 学習規律を守り、進んで楽しく活動しよう。② 意欲的に課題解決に取り組もう。
 ③ 仲間と協力して取り組もう。 ④ 自己やグループの課題に合った練習を選択しよう。
 ⑤ 運動の特性を理解し、楽しさや喜びが味わえるようにしよう。
 ⑥ 安全な場所や安全の確保をしながら運動に取り組もう。
 ⑦ 自他の心身の健康や安全に留意しよう。 ⑧ 健康や安全に関する知識を身に付けよう。

- ① 運動の特性を理解し、運動の楽しさ、喜びを味わうことができるようになる。
 ② 目標設定や課題解決に自ら努力するとともに、お互いに協力し合える態度が見につく。
 ③ 生涯を通じて、運動を愛好できるようになる。
- 「賢く・美しく・心身ともに逞しい芝中生」

4 評価基準と評価方法

		① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
体育分野	評価基準	<p>〈第1学年及び第2学年〉 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。</p> <p>〈第3学年〉 選択した運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解しているとともに、選択した領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>〈第1学年及び第2学年〉 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>〈第3学年〉 生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>〈第1学年及び第2学年〉 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>〈第3学年〉 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して、学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
	評価方法	<p>知識 ・各運動、領域に関する理解度（定期テスト） ・知識を活用した運動への取り組み方（授業での観察）</p> <p>技能 ・各運動、領域の技能（実技テスト） ・練習状況（授業での観察）や学習カードを使用した記録や達成度</p>	<p>・各運動、領域の特性や目的に応じた取り組みの仕方、工夫</p> <p>・自己の課題を理解し、課題達成へ向けた運動（練習の選択場面など）への取り組み</p> <p>・自己が発見したことや気づいたことなどを仲間にも伝えたり、仲間と話し合うことができる表現力</p> <p>・健康、安全を意識、注意する態度</p> <p>※（授業での観察と、学習カードに書かれている内容）</p>	<p>・授業の集合（整列・号令・話を聞く態度）から解散まで、授業の流れに沿った意欲的な取り組み</p> <p>・用具の準備や後片付け、測定や声かけなど自己の役割を果たす積極性</p> <p>・仲間を認め、一人一人の違いに応じた課題や挑戦に対する、援助、補助などの主体的な取り組み</p> <p>※（授業での観察と、学習カードに書かれている内容）</p>
保健分野	評価基準	<p>健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>	<p>健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>
	評価方法	<p>知識 ・保健の知識、理解度（定期テスト）</p> <p>技能 ・実習への取り組み状況（授業での観察）</p>	<p>・生活における健康・安全についての課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、適切な方法を選択・判断できるようになる。</p> <p>・自己が発見したことや気づいたことなどを仲間にも伝えたり、仲間と話し合うことができる表現力</p> <p>※（授業での観察と、保健ノートや学習カードに書かれている内容）</p>	<p>・心と体を一体として捉えた健康の保持増進への積極的な取り組み</p> <p>・生涯にわたって通じる健康・安全に対する課題解決に向けた自主的な学習の取り組み</p> <p>※（授業での観察と、保健ノートや学習カードに書かれている内容）</p>

第3学年

指導目標	単元名	学習内容	評価の観点
<p>(1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し、判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。</p>	体づくり運動	<p>(1)体ほぐしの運動 (2)実生活に生かす運動の計画</p>	<p>① 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。</p> <p>② 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。</p> <p>③ 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>④ 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとする、健康・安全に気を配ることができる。</p>
	器械運動	<p>(1)マット運動 (2)跳び箱運動</p>	<p>① マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと、それらを構成し演技することができる。</p> <p>② 跳び箱運動では、繰り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。</p> <p>③ 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できるとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>④ 器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を講義しようとする、お互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、健康・安全を確保することができる。</p>
	陸上運動	<p>(1)短距離走・リレー (2)長距離走 (3)走り幅跳び</p>	<p>① 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受け渡して次走者のスピードを十分高めること、長距離走では、自己に適したペースを維持して一定の距離を走ること、走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切り跳びることができる。</p> <p>② 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できるとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>③ 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、健康・安全を確保することができる。</p>
	水泳	<p>(1)クロール (2)平泳ぎ (3)背泳ぎ (4)バタフライ</p>	<p>① クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く、速く泳ぐことができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く、速く泳ぐことができる。背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定した泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できるとともに、自分の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>③ 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。</p>
	球技 I	<p>(1)ソフトボール</p>	<p>① ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防できる。</p> <p>② 自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>③ 球技に自主的に取り組むとともに、フェアプレーを大切にすること、作戦などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイを大切にしようとする、お互いに助け合い教え合おうとすること、健康・安全を確保することができる。</p>

第3学年

指導目標	単元名	学習内容	評価の観点
<p>(1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し、判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。</p>	球技Ⅱ	(1)バスケットボール (2)サッカー	① ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開することができる。
			② 自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
			③ 球技に自主的に取り組むとともに、フェアプレーを大切にすること、作戦などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイを大切にしようとする、お互いに助け合い教え合おうとすること、健康・安全を確保することができる。
	ダンス	(1)創作ダンス	① 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり、簡易な作品にまとめることができる。
			② 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
			③ ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする、健康・安全に気を配ることができる。
	柔道	(1)柔道	① 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防ができる。
			② 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できるとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。
			③ 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、健康・安全を確保できる。
<p>(2)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</p>	体育理論	(1)文化としてのスポーツの意義	① 学習内容(1)について理解したことを言ったり、書きだしたりしている。
			② 学習内容(1)について習得した知識を活用し、自己の課題のよりよい解決に向けて思考判断するとともに、自己の意見を他者に伝えている。
			③ 学習活動に積極的に取り組もうとしている。
	保健	(1)健康な生活と疾病の予防 (2)健康と環境	① 学習内容(1)(2)について理解したことを言ったり、書きだしたりしている。
			② 学習内容(1)(2)について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現している。
			③ 学習内容(1)(2)について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。

技術・家庭(技術分野) シラバス

1 教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育てる。

2 学習のアドバイス

- ① 安全を意識しながら学習しよう。工具は便利な半面、使い方を間違えると危険な道具にもなります。
- ② 時間や道具を大切にしよう。集団で学習するマナーや決まりを学ぶことも大切な学習です。
- ③ 作業やそれに関わる知識と、自分の生活との接点を考えよう。

3 身に付けさせたい力

- ① 技術にかかわる基礎的・基本的な知識・技術。
 - ② 生活の中にある技術を適切に評価し活用する態度。
- ★ 3年間を見通し、確かな知識・技能を身につけることができる取り組み。
- ・ 作業を通して考える授業。
 - ・ 班活動の充実。

4 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術に関わる用語の意味、基本的な知識を理解することができる。 ・ 安全かつ正確に作業することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想して、実践を評価・改善し、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術の学習に興味を持ち主体的に粘り強く取り組むことができる。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ プリント ・ 製作品 ・ 技能テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ プリント ・ 振り返りシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ 授業中の活動状況 ・ プリント ・ 振り返りシート

5 授業計画 —1 学年—

指導目標	単元名	学習内容	評価の観点	
<p>・コンピュータについて理解を深める。</p>	<p>インターネット上での情報活用の利便性や安全性について考えよう。</p>	<p>・コンピュータの構成 ・コンピュータの基本的な操作</p>	①	<p>・コンピュータの各部の名称及び構成を説明できる。 ・インターネットを取り巻く様々な危険について理解している。</p>
			<p>・コンピュータをめぐる危険やモラル</p>	②
		③		<p>・情報に関する技術について主体的に粘り強く学習しようとする。</p>
<p>・簡単なものづくりの ができ、材料や作り 方の良し悪しを判 断できる。</p>	<p>身のまわりを整理する作品を作 って身近な生活 の問題を解決し よう。</p>	<p>・ものをつくる技術の 進歩 ・材料の性質 ・材料の加工法 ・工具や工作機械につ いて ・構想図の描き方</p>	①	<p>・材料の特徴を理解している。 ・材料に適した加工方法を理解している。 ・等角図や第三角法による正投影図を描くことができる。 ・正しい寸法で、けがきや材料取りができる。 ・正しく部品接合ができる。 ・材料に応じた正しい仕上げができる。</p>
			<p>・けがき・材料取り・ 切断 ・部品の接合</p>	②
		<p>・やすりがけ ニスぬ り</p>	③	<p>・材料と加工に関する技術について主体的に粘り強く学習しようとする。</p>

5 授業計画 — 2 学年 —

指導目標	単元名	学習内容	評価の観点	
<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成技術の良し悪しを判断し、利用できる。 	野菜の栽培技術をもとに食糧生産などに関わる問題を考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・生物に育成に適する条件 ・育成環境を管理する方法 ・目的とする生物の育成計画と栽培 	①	<ul style="list-style-type: none"> ・環境要因、病害虫、肥料、管理作業について理解している。 ・作物の状況に合った管理作業ができる。 ・食糧生産などについて深く考えることができる。
			②	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成に関する技術を適切に評価し活用している。 ・作物の育成方法を工夫している。
			③	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成に関する技術について主体的に粘り強く学習しようとする。
<ul style="list-style-type: none"> ・配線の修理や点検ができる。 ・持続可能な社会について詳しくなる。 	手回し発電ラジオの制作を通して持続可能な社会について考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活とエネルギー変換 ・自然界のエネルギー利用 ・エネルギーを光や熱に変える ・エネルギーを動力に変える ・交流電源を利用するには ・手回し発電ラジオの製作 ・エネルギー問題 	①	<ul style="list-style-type: none"> ・自然界のエネルギー利用について理解している。 ・エネルギー変換のしくみについて説明することができる。 ・エネルギーを光や熱、動力に変換する仕組みを理解している。 ・省エネ、環境問題等の現状を理解している。 ・安全に気を配り工具や工作機械を使うことができる。
			②	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会について深く考えることができる ・使用目的などを考え、製作品を設計できる。
			③	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換に関する技術について主体的に粘り強く学習しようとする。

5 授業計画 — 3 学年 —

指導目標	単元名	学習内容	評価の観点
<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータについて理解を深める。 ・文字や写真などを組み合わせて効果的な資料をつくる。 ・プログラムによる計測・制御ができる。 ・情報社会や経済の発展について自分なりの考えを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを利用して学校紹介資料をつくる。 ・チャットシステムを作って身近な生活の問題を解決しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集や処理 ・情報モラル ・デジタル作品の構想 ・チャットシステムの構想 ・計測、制御ができるプログラミングソフトの活用 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの各部の名称及び構成を理解している。 ・計測制御またはデジタル作品の作成に必要な知識を理解している。 ・インターネットを取り巻く様々な危険について理解している。 ・情報モラルを持ち、コンピュータを利用できる。 ・適切なソフトウェアを用いて、構想通りのデジタル作品を作成できる。 ・設計に基づき簡単な計測制御のプログラムを作成できる。 ・校内チャットシステムをつくることのできる。
			<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する技術を適切に評価し活用している。 ・計測制御またはデジタル作品の作成方法を工夫している。
			<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する技術について主体的に粘り強く学習しようとする。

技術・家庭(家庭分野) シラバス

1 教科の目標

生活の営みに係る見方・見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

2 学習のアドバイス

- ① 自分の生活を振り返り、課題を見つける。
- ② 小学校での学習を再確認する。
- ③ 家族の一員であるという自覚をもち、家庭の中で自分ができるところを積極的に見つけていく。
- ④ 自分なりに工夫をすすめる。
- ⑤ 完全に気を付けて実習をする。

3 身に付けさせたい力

- ① 生活にかかわる基礎的・基本的な知識・技術。
- ② 生活の自立を目指し、家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度。
- ★ 3年間を見通し、確かな知識・技能を身につけることができる取り組み。
- ・ 学習を振り返り生活をよりよくするための自己評価カード。
- ・ 自ら考えて作業を進めることができる手順書。

4 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価規準	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、改善策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テストの得点の内、知識・技能に関わる項目 ・ 確認テスト ・ ワークシート ・ 製作品 ・ 技能テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テストの得点の内、思考・判断・表現に関わる項目 ・ ワークシート ・ 授業評価シート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の活動状況 ・ 授業準備の状況 ・ ワークシート ・ 確認テスト ・ 授業評価シート

5 授業計画（1学年）

指導目標	単元名	学習内容	評価の観点	
(1) 家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について理解することができる。	1 ガイダンス	(1) ガイダンス (2) 自分の成長と家族	①	3 学年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。
			①	自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。
			①	家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。
(2) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。	2 住居の機能と住まい方	(1) 住居の機能と住まい方	①	家族の生活と住空間との関わりについて理解している。
			①	住居の基本的な機能について理解している。
		(2) 安全で快適な室内環境	①	家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。
			②	家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、考え工夫している。
			③	家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
(3) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。	3 衣服の選択と手入れ	(1) 衣服の着用と選択 (2) 繊維の種類と日常着の手入れ	①	衣服の適切な選択について理解している。
			①	衣服の計画的な活用の必要性について理解している。
			①	衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切に出来る。
			②	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯、収納、補修、アイロンなど）について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど

				して課題を解決する力を身に付けている。
			③	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯、収納、補修、アイロンなど）について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
(4)自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解することができる。	4 身近な消費生活と環境	(1)中学生の消費生活	①	物資・サービスについて理解している。
		(2)販売方法・支払方法	①	購入方法や支払い方法について理解している。
			①	消費者被害の背景とその対応について理解している。
			③	消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
		(3)環境に配慮した消費生活	①	自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。
			②	自立した消費者としての環境に配慮した生活について課題を見いだして課題を設定し、考え工夫している。
			③	自立した消費者としての環境に配慮した生活について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。

5 授業計画（2学年）

指導目標	単元名	学習内容	評価の観点		
<p>(1) 中学生の食生活に関心を持ち、生活のなかで食事が果たす役割を理解し、健康によい食習慣を身につける。</p> <p>(2) 安全と衛生に留意し、基礎的な日常食の調理ができる。</p>	1 中学生の食生活と日常食の献立	(1) 中学生の食生活と栄養	①	生活の中で食事が果たす役割について理解している。	
			①	健康によい食習慣について理解している。	
			②	自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。	
			③	自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	
			(2) 1日に必要な食品の種類と概量	①	中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。
		(3) 1日分の献立作成	①	1日分お献立を作成する方法について理解している。	
			②	中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	③		中学生の1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。		
		(4) 食品の用途と選択	①	日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。	
	2 日常食の献立	(1) 肉・魚を使った調理	①	肉・魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理に適している。	
②			肉・魚の調理について問題を見いだして課題設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		
③			肉・魚の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返っ		

				て改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
		(2) 地域の食材と食文化	①	地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。
			②	和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
			③	和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
(3) 自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解することができる。	4 身近な消費生活と環境	(1) 中学生の消費生活	①	物資・サービスについて理解している。
		(2) 販売方法・支払方法	①	購入方法や支払い方法について理解している。
			①	消費者被害の背景とその対応について理解している。
			③	消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
		(3) 環境に配慮した消費生活	①	自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。
			②	自立した消費者としての環境に配慮した生活について課題を見いだして課題を設定し、考え工夫している。
			③	自立した消費者としての環境に配慮した生活について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。

5 授業計画（3学年）

指導目標	単元名	学習内容	評価の観点	
(1) 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解することができる。	1 家族・家庭と子どもの成長	(1) 幼児の発達と生活の特徴	①	幼児の発達と生活の特徴について理解している。
			③	幼児の観察について、工夫し創造し、実践しようとしている。
		(2) 幼児の遊びの意義	①	幼児にとっての遊びの意義について理解している。
			①	幼児とのかかわり方について理解している。
		(3) 家庭・家族の機能	①	家庭生活と地域の人々とのつながりの大切さに気付いている。
			②	家庭や家族の基本的な機能について理解している。
		(4) よりよい家族関係	①	家族の互いの立場や役割について理解している。
			①	家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。
			②	家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして加田氏を解決する力を身に付けている。
			③	家族関係をよりよくする方法について、課題の解決に向けた一連の勝度を振り返って改善し、工夫し創造し。実践しようとしている。

英語科 第3学年 シラバス

1 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2 学習のアドバイス

- ① 言葉の勉強はまず声に出す
- ② 他人の発表はやや発言を良く聞く
- ③ 習った表現で文を作っているようにする
- ④ 習った表現で文を作っているようにする
- ⑤ 習った表現で文を作っているようにする
- ⑥ 語彙や熟語を増やす
- ⑦ 予習・復習を徹底する
- ⑧ 教科書や音読する
- ⑨ ワークブックや問題集で定着を確認する

3 身につけさせたい力

- ① 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できるようにする。
- ② コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができるようにする。
- ③ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

4 評価の観点、評価規準と評価方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	(知識)英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 (技能)実際のコミュニケーションにおいて日常的な話題や社会的な話題について ① 話された内容をとらえる技能 ② 書かれた文章を読んで内容をとらえる技能 ③ ④ ⑤ 事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句を用いて伝えあう・話す・書く技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面や状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について ① 文章を聞いて要点をとらえている。 ② 文章を読んで要点をとらえている。 ③ 事実や自分の考え、気持ちなど簡単な語句や文を用いて伝えている・話している・書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手、書き手、聞き手に配慮しながら、主体的に英語で話されていること、書かれていることを聞こう、読もうとしている。また主体的に英語を用いて伝えあおう、話そう、書こうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テストの成績 ・ 話すことに関わるパフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テストの成績 ・ 話すことに関わるパフォーマンステスト ・ 課題英作文 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートやレポートにおける記述 ・ 授業中の発言 ・ 自己評価シート ・ 授業中の行動観察 ・ 小テスト

5 1年間の学習内容 ●これまでの自分のことや社会的な問題などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。

単 元	学習の目標	学習内容（文法）	評価の観点と評価規準の例 (ア知識・理解 イ 思考・判断・表現 ウ 主体的に学習に取り組む態度)
<p>Unit 1 Virtual Safari Tour</p> <p>Unit 2 Our School Trip</p> <p>Unit 3 Lessons From Hiroshima</p> <p>Unit 4 AI Technology and Language</p> <p>Unit 5 My dream for the Future</p> <p>Unit 6 The Chorus Contest</p> <p>Unit 7 Tina's Speech</p> <p>Unit 8 Goodbye, Tina 手紙を読む/手紙を書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記事から、質問の答えに必要な情報を読み取ることができる。 ・記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表することができる。 ・修学旅行についての発表を聴きとることができる。 ・おすすめの場所について聞いたり伝えたりできる。 ・読んだ内容について、感想を話すことができる。 ・AIについての投稿文を読み取り、感想や意見を書くことができる。 ・環境問題についてのプレゼンテーション原稿を読み取り、感想を伝えたり、聞くことができる。 ・合唱コンクールについての音声を聴き取り、ピクチャーカードに合うセリフを考えることができる。 ・人のスピーチの概要を聞き取ることができる。 ・自分のことについてスピーチすることができる。 ・お別れの手紙を読み取ることができる。 ・手紙を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆受け身の文 ◆動詞の過去分詞 ◆let 人＋動詞の原形の文 ◆tell人＋that～の文 ◆現在完了形（完了用法・経験用法） ◆現在完了形（継続用法） ◆現在完了進行形 ◆It...for 人 to～の文 ◆関係代名詞（主格） ◆関係代名詞（目的格） ◆分詞の後置修飾 ◆間接疑問文 ◆疑問詞 to 動詞の原形の文 ◆仮定法 If I could～の文 ◆仮定法 I wish～の文 	<p>ア.受け身の文の形・意味・用法に関する知識を身につけている。</p> <p>ア.記事の概要を読み取ることができる。(R)</p> <p>イ.記事についての意見・感想を発表することができる。(SI)</p> <p>ア.現在完了形の形・意味・用法に関する知識を身につけている。</p> <p>ウ.聞き取ったスピーチについて質問したり、感想を述べようとしている。(SI)</p> <p>ア.現在完了形の形・意味・用法に関する知識を身につけている。</p> <p>イ.人物の経験や心情を読み取り、感想などを発表できる。(R)(S)</p> <p>ア.関係代名詞の形・意味・用法に関する知識を身につけている。</p> <p>イ.読んだ投稿文についての感想を書くことができる。(W)</p> <p>ウ.聞き取ったプレゼンテーションについての感想を書こうとしている。</p> <p>ア.間接疑問文の形・意味・用法に関する知識を身につけている。</p> <p>イ.ピクチャーカードに合うセリフを即興で考え、発表することができる。</p> <p>ウ.ピクチャーカードに合うセリフを考え、自身の知識内でできる発表をしようとしている。</p> <p>ア.「疑問詞＋to＋動詞の原形」の形・意味・用法に関する知識を身につけている。</p> <p>ア.仮定法の形・意味・用法に関する知識を身につけている。</p> <p>イ.今の自分について英語でスピーチできる(SP)</p> <p>イ.大切な人へ宛てた手紙を英語で書くことができる。(W)</p> <p>ウ.自分の表現の幅で書こうとしている。</p>